

水道施設で使われている

機器について 紹介します！

いつでも安全でおいしい水道水を届けるために、
たくさんの機器が活躍しています。

今号では、数ある機器の中から長府浄水場内に
ある濁色度計について紹介します。

ダムや川などから取り込んだ原水には濁りなど
があるため、浄水場でたくさんの工程により水処
理を行っています。そのため、まず濁色度計によ
り原水の濁度や色度を測定し、効率的な薬品の注
入率を決定しています。また、水処理の過程や最
終段階においても、濁色度計により濁度や色度
を測定し、安全性の確認を行っ
ています。



濁度・色度を計測している様子

※水質基準及び水質試験結果は
P8に記載しています。

濁度と色度って 何だろう？

【濁度】

濁度とは、濁り具合のことをいいます。

- ・水質基準は2度以下
- ・濁りが多いと数字が大きくなります。
- ・台風などで大雨が降った後は濁り具合が大
きくなります。過去に200度まで上昇し
たことがあります。

【色度】

色度とは、水への色つき具合のことをいいます。

- ・水質基準は5度以下
- ・色つきが濃いと数字が大きくなります。



水の 四字熟語

社会福祉法人中部少年学院
理事長 石川 啓

参考 田部井文雄編 四字熟語辞典 大修館書店
新明解四字熟語辞典 三省堂
夏目漱石作 吾輩は猫である 岩波文庫
中田昭栄 詩経新編下 郁朋社
鎌田正・米山寅太郎著 大漢語林 大修館書店
水の情報誌「ウォーターワーク」vol.31

「洒掃薪水」

夏目漱石作「吾輩は猫である」に次のようなく
だりがあります。

「一前略—平生叱り付けたり、口を聞かなかつたり、
身上苦勞をさせたり、小供の世話をさせたりする
ばかりで何一つ洒掃薪水の勞に酬いた事はない。
—以下略—」

多弁を代表する迷亭が、首をくくったという経
験を長々と披露します。初めのうちは気分が重そ
うであった苦沙弥まで、細君の希望に応じて歌舞
伎座の撰津大掾（注）を聴きに行こうとしていた
ところ急病が起こって、連れて行こうと思うけれ
ど駄目になった、という経験を迷亭以上に長々と
喋りだすのです。

ここでいう洒掃薪水は、掃除や炊事をするこ
とで日常の家事労働のことです。洒掃は、水を注ぎ
塵を掃いて掃除をするという意味です。詩経には、
周王室の父老が年若い王を諫めた歌に「洒掃廷内
（靈廟を掃き清める）は民草の手本である。」とあ
ります。薪水は、焚き木を採り水を汲んで炊事
することを表します。奥の細道には、曾良が芭蕉
の家事労働を助け、骨身惜しまない働きをして
くれたことを「予が薪水之勞をたすく」と記しました。

洒掃薪水は、人間の生活にとって最も基本的な
労働である家事労働を表し、「母の洒掃薪水の勞に
感謝する」というように用います。

（注）撰津大掾 義太夫節の大夫。
美声と上品な芸風で明治期の代表的な名人。